



同窓会だより

滋賀県レイカディア大学同窓会 草津栗東支部

平成28年 4月
NO.28-1号
総務広報部会発行
「かわらばん」改名
通算120号

平成 28・29 年度の同窓会支部役員等について

新年度支部総会が4月22日(金)に草津市まちづくりセンターで開催され、今後2年間の同窓会運営のお世話をしてくる役員の方々が承認されます。役員候補者は2月理事会において決定されました。その後に、理事および事業部門部長の交代があったので、現時点では次のようになっています。



レイカディア大学同窓会 草津栗東支部

平成28年度役員等の候補者名簿は次の通りとなっています。



執行部3役・事業部門長・会計監査 現在の会員数176名(内m134名、f42名)

支部長	河前良和	28期園芸	総務広報部長	大西隆夫	34期園芸
副支部長	教野弘孝	32期陶芸	健康スポーツ部長	中橋民男	36期健康づくり
副支部長	大西隆夫	34期陶芸	文化研修部長	浦山増二	28期文芸
会計	黒川かず江	35期健康づくり	地域活動部長	川井欣司	32期園芸
会計監査	平田武三	32期園芸	会計監査	吉田進	22期園芸

学区理事・期別理事・顧問 役職・会員数・新任者(新)・卒業期学科・氏名を順に示す

草津	14	新	33地文	石田はま子	治田	14		33園芸	堀池兵二
草津2	2	新	32健レク	山口尚孝	治田西	7		28文芸	浦山増二
渋川	8	新	34陶芸	大西隆夫	治田東	1	新	36地文	古谷初枝
山田	2	新	36健づく	中橋民男	金勝	1			
笠縫/上	9	新	32園芸	中村邦彦	葉山	10	新	36地文	安原康子
笠縫/野	5	新	35園芸	山元譲治	葉山東	4			
笠縫東	10		26生活	西尾嘉隆	大宝	9	新	28生活	中嶋三好
			24陶芸	柴田茂寿	大宝東	6		22スポーツ	和賀吉雄
常盤	4		24陶芸	柴田茂寿	大宝西	7	新	36地文	和田一馬
老上1	5		27生活	金森耕造					
老上2	11	新	28文芸	中野勝巳	34期別	16		34園芸	佐々木奉昭
玉川	8		31地文	櫻木勇	35期別	23		35園芸	藪健治
南笠東	5		32園芸	中西洋一	36期別	18	新	36健づく	中橋民男
矢倉	12	新	35健づく	黒川かず江					
志津	9		35園芸	藪健治	顧問			17文芸	奥村常次郎
志津南	13		31生活	犬上勝彦					

事業部門の活動状況だより

文化研修部会・春の歴史探訪会 文化研修部会

3月9日（水）参加10名が野洲方面に出かけました。あいにくの雨でしたが、福林寺跡の摩崖仏、桜生史跡公園の古墳群、銅鐸博物館の歴史探訪とウォーキングを古市会員のガイドで楽しみ有意義な一日でした。写真は銅鐸博物館内で(浦山担当より)



地域活動部会のボランティア 地域活動部会

1・栗東傾聴：

実施日＝2月15日（月）10時～11時 場所：栗東デイサービス「大宝の家」参加3名
内容：入所者の傾聴 残念ながら本日は休みの方が多く入所者の方は少なかったがその分ゆっくり聞くことができた。

2・栗東和中散：

実施日＝3月5日（土）10時～16時
場所：和中散 参加人員：6名
内容：今年初の開館日、まだウォーキングする方も少なく来館者6名だった。



3・常盤小学校ボランティア：



実施日＝3月8日（火）9時～11時半
参加人員：5名
場所：常盤小学校のグラウンドと周辺
内容：グラウンドの整地・周辺の樹木剪定や草引き作業等
卒業式前のグラウンドを整備

4・栗東傾聴：

実施日＝3月22日（火）
時間：13時～14時
参加人員：3名
内容：本日は入所者が34名と多く、また、男性が7名おられ、久しぶりの賑わいだった。



今回は野瀬清雄様を推薦します
よろしくお祈りします



私は、昭和四年（1929）生、数え年88歳の米寿を迎える。

我ながらいつの間に年をとったのか、年月の立つのが早いことを改めて感じています。脳裏に浮かぶ主な出来事を思いつくままに採り上げてみますと次のようなことが挙げられます。

- ◆提灯行列をした日中戦争の勃発より78年が経つ
- ◆旧制中学での厳しい軍事教練と空襲下の学徒動員
- ◆玉音放送の太平洋戦争終戦より70年が過ぎる
- ◆結婚してから61年、人類初の月面着陸から46年
- ◆長女結婚から31年、官房長平成宣言から27年
- ◆退職して26年、45年振り故郷移住から22年
- ◆死者が6433人を出した阪神大震災から21年
- ◆懐かしいレイカディア大学を卒業してから18年
- ◆米国ニューヨークの同時多発テロ発生から14年
- ◆郷土史「縵の歴史と文化」写真右の発行から10年
- ◆18455人の死者・行方不明者を出し、原発事故を起こしてから5年



この間には肉親や親戚知人などの身近な人の死などがありました。過ぎたことは年を取るほどに、また、印象の強い出来事ほどに月日の立つのが早いように思います。先のことも同じく年を追う毎に、大事なもののほど月日が早く来るようにおもいます。

しかし、必ず訪れる「人生の終末」については、忌避し月日の経つのを知らぬ振りの人が多いように思います。私は正面から向き合うべきと考えています。『光陰矢の如し』『歲月人を待たず』等、故事諺の通り、過ぎゆく月日が早いと思う心理は、昔も今も変わらない様に思います。子供時代は「もういくつ寝るとお正月…」のように正月を待ち遠しくて月日の経つのが遅いと誰しも感じられたと思います。

私は、年を取る毎に月日の立つのが早くなる感覚は人間特有の能力で他の動物にはないものであり、この感覚を人生の列車に譬えてみたいと思います。この列車は、年齢と同じ数値の時速で走ります。私の場合、1929年に乗車した列車の乗客で、今年米寿の同年代の人々が乗客です。乗客の乗り降りには自由ですが、必ず還暦・喜寿・米寿・白寿の駅で列車に戻ることを条件として出発しました。列車のスピードは、個人差はありますが、年齢と比例していますので出発して15歳（15km/h）位までは遅いと感じます。しかし、50歳（時速50km/h）頃より早いと感じる人が増え始め、殆んどの人が早い早いと口にするようになりました。約束の再乗車券は、還暦駅で戻らない人が出始め、喜寿駅では約半数の人が、また米寿駅では乗客の約4分の3の人が戻りません。

即ち、私の小学校の男子同級生30人中23人が戻らず7人になり、また旧制中学同級生57人中の42人が戻らず15人になりました。大変残念です。月日が立つのが早いという感覚的なものを的確に表現することは難しく、意のあるところを汲みご理解賜りたいと存じます。

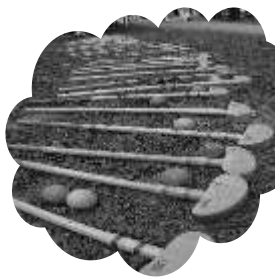
前国松支部長時の平成 24 年 6 月に支部活性化委員会組織が設立され、その年末に「魅力ある支部作り」を目標とする素案が提示されました。次いで、平成 25 年度総会で支部活性化対策に基づいた支部会則が改正され、会員全員が何れかの活動部会に登録することが望まれました。

全会員はそれらの活動に参加し、各部会は企画、計画、実施、評価する。自からの同窓会は自身が楽しく地域活動する事が望まれました。新しく学区懇親会が開催され、少しは仲間の顔が見えたようです。地域活動部会も発足し、行政への対応・学区、地域のボランティアも実地されました。

理事会に於いては多くの意見が有り、欠席者も非常に少なくなりました。役員を代表して、会員皆様にお礼申し上げます。平成 28 年度からは三役及び学区理事も新しく選出されるようです。役員活動は長生きする健康の基と考えます。益々楽しく、元気で活動をされるようお願い致します。

グラウンド・ゴルフ

春季大会ご案内 健康スポレク部



今大会より 会員配偶者及び

草津・栗東に在住のレイ大在校生参加も OK

(未経験の方、女性の方大歓迎)

多くの方々のご参加をお待ちしております

日時:5月20日(金)13:30~16:00 (受付 13:00) 雨天順延:5月26日(木)

場所:弾正公園多目的広場(芝生) 草津市下笠町総合体育館 TEL568-3150

参加費:会員 300円★配偶者・在校生 500円 持ち物:プレー用具

(プレーに必要な用具のない方は申込み時にその旨ご連絡下さい)

申込方法:会員皆様の学区理事宛に電話等で5月13日迄(期限厳守)

(理事の方は担当の金森・中橋宛にご連絡ください)

金森:TEL562-6119 kanamohk@zeus.eonet.ne.jp 中橋:TEL563-3432 minato3139@yahoo.co.jp

歴史探訪会

草津線柘植⇄余野公園のご案内 文化研修部

日時: 5月8日(日)小雨決行 集合: 草津駅改札口前 7:45分までに

行程:JR草津駅 8:02 発→柘植駅 8:52 着(駅前 9:00 出発→都美恵神社

→徳永寺(家康ゆかりの寺)→横光利一文学碑→歴史民俗館→風の森社跡

→余野公園 11:30 着(ウォーク約 4 km) 昼食&自由行動(祭り広場&SL)

帰途:柘植駅 16:08(駅迄徒歩、またはシャトルバス利用)→草津駅 17:05 着

伊賀の歴史を感じる史跡巡りと 1 万 5 千本のつつじ咲く余野公園散策

参加者:会費は不要 (ただし、交通費及び昼食は各自で負担願います)

申込方法:西村正男(担当宛へ直接連絡)電話・Fax 552-3059 携帯 090-5886-2513

締切り:5月2日(月)

Eメール reo-masao@mue.biglobe.ne.jp